

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [12893] Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失)

受託開始日

- 2022年7月11日(月)



Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失)

男性不妊症に関わる遺伝学的原因の一つとして、Y染色体長腕上の無精子症因子 (azoospermia factor : AZF) 領域の微小欠失が報告されています。

AZF領域は精子形成に関与している領域です。その領域は、AZFa、AZFb、AZFcの3領域から構成され、欠失する領域により顕微鏡下精巣内精子採取術 (micro-TESEないしはMD-TESE) での精子採取率が異なることが知られています。AZFc欠失や日本人男性の1/3程度に認められるAZFc部分欠失 (gr/gr) の場合は、micro-TESE (MD-TESE) による精子採取がAZF欠失がない場合と同様に期待できると考えられています。

本検査では、AZF領域の欠失の有無や欠失パターンを判定します。micro-TESE (MD-TESE) による精子採取が難しい欠失である場合は、侵襲性の高いmicro-TESE (MD-TESE) を回避することが可能となります。

検査要項

項目コード	12893
検査項目名	Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失) *1,2,3
検体量/保存方法	EDTA加血液 2mL *4 [容器番号: 13番] / 冷蔵
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	(設定せず)
報告様式	下表参照
報告形態	親展報告書
所要日数	7~13日
検査実施料	3770点*5,6 ([D006-28] Y染色体微小欠失検査)
判断料	100点 (遺伝子関連・染色体検査判断料)
備考	<p>*1: 受付曜日: 月~金曜日 (休日とその前日は受付不可)</p> <p>*2: 検査に当たり、被検者へ十分な説明を行ってください。被検者ご自身の承諾が文書で得られた場合にのみ、検査を受託します。依頼書の被検者名はプライバシー保護のため、匿名化をお願いします。また、検査前後の被検者への十分なカウンセリングを併せてお願いします。</p> <p>*3: ご依頼の際は、『遺伝学的検査依頼書【遺伝子検査】』をご利用ください。</p> <p>*4: コンタミネーション防止などのため、検体採取後は容器を開栓しないでください。</p> <p>*5: 不妊症の患者であって、生殖補助医療を実施しているものに対して、精巣内精子採取術の適応の判断を目的として実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できます。なお、本検査を実施する医学的な理由を診療録に記載する必要があります。</p> <p>*6: 本検査は、「生殖補助医療管理料1」、「生殖補助医療管理料2」または「精巣内精子採取術」のうちいずれかの施設基準の届出を行った保険医療機関において実施した場合に算定が可能です。また、遺伝カウンセリング加算の施設基準に係る届出を行っている、または当該基準の届出を行っている他の保険医療機関との間の連携体制が整備されていることが望ましいとされています。</p>

Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失) の報告様式

検査対象欠失なし	Y染色体欠失	Y染色体長腕部分欠失IV	検査不能
AZFa欠失	Y染色体長腕欠失	Y染色体長腕部分欠失V	※判定対象外の欠失パターンが検出された場合、「判定不能」でご報告します。
AZFb欠失 (P5/proximal P1)	Y染色体長腕部分欠失I	Y染色体長腕部分欠失VI	
AZFb+c欠失 (P5/distal P1)	Y染色体長腕部分欠失II	AZFc部分欠失 (gr/gr)	
AZFc欠失 (b2/b4)	Y染色体長腕部分欠失III	判定不能※	

参考文献

Iijima M, et al. : International Journal of Urology **21** (9) : 910-916, 2014.
 高栄哲, 他: Journal of Mammalian Ova Research **30** (4) : 135-144, 2013.